

研究室だより

平成十八年度は学科長山本暉久、教務委員木下亮が担当して学科運営にあたっている。

(1) 平成十八年度歴史文化学科専門科目および担当者

(※は本年度開講せず、*は非常勤講師)

歴史学概論	教授	山本博也
日本史通論	助教授・博(文)	千葉功
史料解読	教授	山本博也
*古文書学	講師	山家浩樹
古文書解読	講師・博(文)	久保貴子*
近代女性史文献講読	教授	掛川典子
日本近現代史料解読	助教授・博(文)	千葉功
日本古代史	講師	中村順昭
日本中世史	教授	山本博也
日本近世史	講師	太田尚宏*
日本近現代史	助教授・博(文)	千葉功
日本近現代史特論	講師	岩城紀子*
映画史	講師	野島孝一*
ジェンダー論	教授	掛川典子
日本女性史	講師・博(文)	児島恭子
比較女性史論	教授	掛川典子

日本思想史	講師・文博	米井輝主*
有職故実	講師・博(文)	久保貴子*
世界史通論	教授	吉成薫
ヒエログリフ入門	教授	吉成薫
古代エジプト史	教授	吉成薫
古代オリエント文化史	教授	吉成薫
西洋中・近世史	講師	*三森のぞみ
東洋史概説	教授	田熊信之
東シナ海文化交流史	助教授・博(学)	菊池誠一
シルクロードの東西交流	講師・文博	*相馬隆
考古学概論	教授・博(文)	山本暉久
考古学基礎	助教授	小泉玲子
実験考古学	講師・博(文)	*御堂島正
考古学実習	教授・博(文)	山本暉久、
	助教授	小泉玲子
日本考古学特論A—縄文—	教授・博(文)	山本暉久
日本考古学特論B—弥生・古墳—	助教授	小泉玲子
日本考古学特論C—歴史—	講師	*小野正敏
アジア考古学	助教授・博(学)	菊池誠一
アジア考古学特論A—東南アジア—	助教授・博(学)	菊池誠一
*アジア考古学特論B—西アジア—	教授	吉成薫
日本美術史概説	教授	灰野昭郎

日本美術史基礎 助教授・博(文) 内田啓一
 日本美術史特論A — 江戸絵画 — 助教授・博(文) 内田啓一
 *日本美術史特論B — 鎌倉美術 — 助教授・博(文) 内田啓一
 日本美術史特論C — 漆芸 — 教授 灰野昭郎
 工芸史 講師 *竹内奈美子
 東洋美術史概説 講師 *川瀬由照
 西洋美術史基礎 教授 木下亮
 西洋美術史概論 教授 木下亮
 西洋美術史特論 — スペイン美術 — 教授 木下亮
 *キリスト教文化史 教授 掛川典子
 *現代美術論 講師 遠藤望
 日本建築史 教授・工博 平井聖、
 講師・博(学) 浅野伸子
 ヨーロッパ建築史 教授・工博 堀内正昭
 西洋館の文化史 教授・工博 堀内正昭
 日本芸能史 助教授 大谷津早苗
 *日本芸能史基礎 — 調査法 — 助教授 大谷津早苗
 *日本芸能史特論 助教授 大谷津早苗
 演劇文化論 助教授 大谷津早苗
 日本服飾史 教授 安蔵裕子
 服飾史資料基礎 講師 *神埜正子
 西洋服飾史 講師 *神埜正子

染織工芸論 教授 安蔵裕子、教授 谷井淑子、
 助教授・博(学) 下村久美子
 仏教文献講読基礎 教授 関口静雄
 仏教文化史 教授 関口静雄
 歴史文化特論 — 寺社縁起の世界 — 講師・博(学) *阿部美香
 禅と日本文化 教授 田熊信之
 伝統文化の現場 歴史文化学科教員
 世界の博物館・美術館事情 教授 増田勝彦、教授 木下亮、
 助教授・博(文) 内田啓一
 茶道史・茶道演習 講師 *戸川晴代
 日本生活文化史概論 助教授 大谷津早苗
 民俗学概論 教授 渡辺伸夫
 民俗調査法 助教授 大谷津早苗
 民俗学特論A — 地域と祭り — 教授 渡辺伸夫
 民俗学特論B — 民俗と民具 — 講師 *小川浩
 人文地理学概論 教授・博(文) 田畑久夫
 自然地理学概論 講師・文博 *大山正雄
 地域調査法 — フィールドサーヴェイ入門 — 教授・博(文) 田畑久夫
 地理学特論 — 地理学の諸問題 — 教授・博(文) 田畑久夫
 地誌通論A — 日本地誌 — 講師 *福島義和
 地誌通論B — 世界地誌 — 講師 福島義和
 地域文化論 教授・博(文) 田畑久夫

文化人類学概論	講師・文博	スチュアート・ヘンリ*	文化財保存修復学基礎	教授	武田昭子、	教授	増田勝彦
北アジア文化特論	助教授・博(社)	フフバートル	文化財保存修復学	教授	増田勝彦、	教授	武田昭子
フランス文化概説	教授	江中里子	文化財保存修復学実習	教授	武田昭子		
フランス文化特論——ベルエポック——	教授・博(文)	田畑久夫	博物館学A——博物館学概論——	講師	石井則孝*		
民族誌	教授・博(文)	田畑久夫	博物館学B——博物館資料論——	教授	増田勝彦		
文化論	教授・博(文)	田畑久夫	博物館学C——博物館経営論・情報論——	講師・博(学)	赤沼英男、*		
歴史文化論A	教授	関口静雄		教授	増田勝彦、		
歴史文化論B	教授	山本博也		教授	武田昭子		
宗教学概論	講師・文博	米井輝圭*	教育学概論	助教授	松本淳		
倫理学概論	教授	掛川典子	生涯学習概論	助教授	松本淳		
経済学概論*			視聴覚教育メディア論	講師	大明敦*		
社会学概論	助教授	西脇和彦	博物館実習Ⅰ	教授	安蔵裕子、	助教授	小泉玲子
法学概論(国際法を含む)	講師・博(法)	高佐智美*	博物館実習Ⅱ	助教授	小泉玲子、		
現代政治論	講師	村野坦	博物館実習Ⅲ	教授	武田昭子、	助教授・博(文)	内田啓一
地理・歴史教育法	教授・博(文)	田畑久夫、*	館務実習	助教授・博(文)	内田啓一		
地域史研究法——世田谷——	講師	小川浩	模写	講師	板倉公明*		
	教授	山本博也、	測量	講師	藤沼俊行*		
	助教授・博(文)	千葉功	ボストン・ミュージアムプログラム	講師	歴史文化学科教員		
文化財学概論	教授	増田勝彦	日本古代史演習	講師	中村順昭*		
文化財の材料	講師・博(学)	赤沼英男、*	日本中世史演習	教授	山本博也		
文化財保存学	教授	武田昭子					
	教授	増田勝彦					

日本近世史演習	講師 太田尚宏*	歴史文化演習B	助教 博(文) 千葉功
日本近現代史演習	助教 博(文) 千葉功	歴史文化演習C	教授 掛川典子
日本女性史演習	講師・博(文) 児島恭子*	歴史文化演習D	教授 吉成薫
比較女性史論演習	教授 掛川典子	歴史文化演習E	教授 田熊信之
オリエント史演習	教授 吉成薫	歴史文化演習F	教授・博(文) 山本暉久
東アジア文化史演習	教授 田熊信之	歴史文化演習G	助教 小泉玲子
日本考古学演習A	教授・博(文) 山本暉久	歴史文化演習H	助教 博(学) 菊池誠一
日本考古学演習B	助教 小泉玲子	歴史文化演習I	教授 灰野昭郎
アジア考古学演習	助教 博(学) 菊池誠一	歴史文化演習J	助教 博(文) 内田啓一
日本美術史演習A	教授 灰野昭郎	歴史文化演習K	教授 木下亮
日本美術史演習B	助教 博(文) 内田啓一	歴史文化演習L	助教 大谷津早苗
西洋美術史演習	教授 木下亮	歴史文化演習M	教授 安蔵裕子
日本芸能史演習	助教 大谷津早苗	歴史文化演習N	教授 関口静雄
服飾文化史演習	教授 安蔵裕子	歴史文化演習O	教授 渡辺伸夫
仏教文化史演習	教授 関口静雄	歴史文化演習P	教授・博(文) 田畑久夫
民俗学演習	教授 渡辺伸夫	歴史文化演習Q	助教 博(社) フフバートル
地域文化演習	教授・博(文) 田畑久夫	歴史文化演習R	教授 江中里子
東アジア言語社会演習	助教 博(社) フフバートル	歴史文化演習S	教授 増田勝彦
フランス文化演習	教授 江中里子	歴史文化演習T	教授 武田昭子
文化財保存学演習	教授 増田勝彦		
文化財保存修復学演習	教授 武田昭子		
歴史文化演習A	教授 山本博也		

(2) 平成十七年度 日本文化史学科卒業論文題目一覧

題目

氏名

(指導教員)

○ 中国古代の災異・瑞祥について

伊佐山愛子

(田熊信之)

—『山海経』における異形の動物たち—

○ 中世における神判について

市原 優

(山本博也)

—『看聞日記』の世界から—

○ 古代エジプトにおける色の象徴性

井本智絵

(吉成 薫)

—青についての一考察—

○ 『あさま山荘事件』が起こるまで

上原千枝

(千葉 功)

○ 「プレシユーズ」とは何か

大澤絵理

(江中里子)

—モリエールの作品を中心に—

○ 明治期、女子服制の制定と皇后の

角田美保子

(安蔵裕子)

洋装着用

○ 武蔵国一宮氷川神社の神幸祭

酒井奈美

(渡辺伸夫)

○ 満州国—石原莞爾と愛新覚羅溥儀

坂本真理子

(千葉 功)

について—

○ 事八日と民話弥三郎婆の関係につ

佐藤真帆

(渡辺伸夫)

いての一考察

○ 東京遷都後における京都の近代化

新川央乃

(千葉 功)

政策

○ 明治改暦—暦と時—

鈴木かおり

(千葉 功)

○ 陸軍 軍人 石原莞爾について

関根茉衣子

(千葉 功)

○ アンコール・トムのバイヨン寺

高部明日美 (菊池誠一)

院研究—回廊のレリーフから見

た民衆の生活文化—

○ 古墳埋葬から見た支配構造につい

高山美穂

(小泉玲子)

て—古墳時代の女性被葬者の位

置づけ—

○ 装飾古墳における鳥の図文の一考察

館野綾子

(小泉玲子)

○ 秋田蘭画—直武の生涯と画業

田中美佳子

(内田啓一)

○ 高度経済成長期における消費革命

中野沙江子

(千葉 功)

○ 後藤新平の都市計画

中村由梨子

(千葉 功)

○ 雛人形に関する一考察—上巳の

長浜温子

(灰野昭郎)

節句の変遷とともにたどる—

○ アール・ヌーヴォーの宝飾工芸家

名倉実季子

(木下 亮)

ルネ・ラリック—1900年パリ万

国博覧会を軸に—

○ 浮世絵から見る江戸後期の型染文様

奈良悠以

(安蔵裕子)

—歌川国貞を中心に—

○ 鼓類に関する研究—民俗芸能の

野寺美香

(大谷津早苗)

太鼓・鼓を資料として—

○ 代理母出産に関する一考察

羽賀幸美

(掛川典子)

○ 鹿島神宮の物忌について

橋本朋子

(渡辺伸夫)

—その役割と存在意義—

- 龍の起源 — 中国を中心にその起源と派生の過程 —
浜本智江 (田熊信之)
- 縄文土器の器形と用途
菱沼有理 (山本暉久)
- 高橋由一の画業 — 画学所時代を中心に —
二見奈津子 (内田啓一)
- 嵯峨大念仏狂言の成立について
古川智子 (大谷津早苗)
- 仮面を資料として —
増井千浩 (武田昭子)
- 屋外設置石造文化財の保存について
— 大理石モニターを使用した酸性雨の影響調査 —
水田明子 (田熊信之)
- 軍師 — 三国志を中心に —
皆川有希 (菊池誠一)
- 映画からみたベトナム戦争 — オリバー・ストーン「ベトナム三部作」 —
宮本花恵 (関口静雄)
- 待定法師の研究
宮山侑恵 (内田啓一)
- 東大寺南大門金剛力士像 — 運慶の生涯とその魅力について —
茂木麻代 (木下 亮)
- 日本がゴッホに与えた影響 — ゴッホにおける日本の重要性 —
森 郁美 (千葉 功)
- 大正・昭和期の宮中問題 — 牧野伸顕を中心として —
安澤麻里子 (山本暉久)
- 高松塚とキトラ古墳 — 壁画古墳の世界 —
○ 道元の女性観について
山本麻衣 (田熊信之)
- 樋口一葉の生に関する一考察
吉田果奈 (掛川典子)
- 満州移民について — 加藤完治と東宮鉄男に焦点をあてて —
渡部美穂 (千葉 功)
- 東京の生活史 — 子どもの玩具の変遷を通して —
青木みゆき (田畑久夫)
- 明治時代から大正時代にかけての博物館史と博覧会史との関連に関する一考察
秋葉千恵 (武田昭子)
- 荻野吟子 — 天職をみつけた女性 —
新井美沙子 (掛川典子)
- 大名屋敷の平面図にみる風呂と湯殿について
石山なつき (平井 聖)
- 新吉原の風俗について 青楼絵本年中行事を中心に
井上満美子 (内田啓一)
- 「武士道」の変遷 — 昭和戦前期を中心に —
漆間朝子 (千葉 功)
- 太平洋戦争期の映画について
大森なつ実 (千葉 功)
- 家の光から見る太平洋戦争下の農村部の食生活
岡田佳織 (千葉 功)
- 江戸遺跡出土のベトナム陶磁器
岡野佐知子 (菊池誠一)
- アンコール・ワットの神話的世界
加藤麻衣子 (菊池誠一)

- 儀礼とファッション — 儀礼服に対する昭和女子大学生の意識調査 — 木村弘美 (安蔵裕子)
- 富山県の地域文化 楠明吏紗 (田畑久夫)
- 月岡芳年の妖怪画における描法と特徴 — 国芳との比較と和漢百物語を中心 — 小出 円 (内田啓一)
- 中国の刑罰史について 酒井千尋 (田熊信之)
- 「久保田発言」から見る日韓関係 佐藤温子 (千葉 功)
- 『栄花物語』の服装からみる女性像 佐藤麻衣子 (安蔵裕子)
- 縄文時代の土製仮面 杉田和嘉子 (山本暉久)
- 多色摺技法の変遷について 関今日子 (内田啓一)
 - 錦絵誕生に至るまで —
- 髪飾りと髪型に関する一考察 瀬間 望 (灰野昭郎)
 - 簪を中心に —
- 女性童謡詩人金子みすず 高根尚子 (掛川典子)
- カンボジアの歴史とアンコール・ワット 高橋智美 (菊池誠一)
- 江戸時代中期にみられる浮世絵の中の柱絵について — 春信・湖龍斎を中心に — 滝沢三美 (内田啓一)
- 石造文化財保存の諸相を外観する 竹村朋子 (増田勝彦)
- Il calzolaio dei sogni (夢の靴職人の筒井裕子 (千葉 功)
- 野望 (salvatore ferragamo) の歴史
- 縄文時代の楽器 戸田涼子 (山本暉久)
- ミケランジェロ《最後の審判》の裸体表現について 中澤菜美子 (木下 亮)
- 桂園体制下における政界刷新論 中野 佳 (千葉 功)
 - 憲政本党・立憲国民党を中心 —
- 縄文時代のイノシシ顔 — 土器に裝飾されたイノシシ顔 — 中野弥生 (山本暉久)
- 「職人歌合」にみる女性職能民 中山真理子 (渡辺伸夫)
 - 遊女・白拍子・立君・辻子君 —
- 平面図から見た便所の位置・方位・数 西中亜矢子 (平井 聖)
 - 明治期から昭和戦後期 —
- 科挙試験と中国社会にもたらした影響と横行した不正行為 新田歩美 (田熊信之)
- 暴風雨神ルドラの重要性について 原田美香 (掛川典子)
 - インドの気候から解く神話の意義 —
- 自然環境からみた八戸市の地域的性格 — 特に地形・地質・気候・および産業と観光 — 平館里美 (田畑久夫)
- 吉原遊郭と遊女の存在形態との関係について 福永真理恵 (児島恭子)

○古文書の劣化部分の簡易修復方法
について、微小点接着法、

○ベトナム「日本町」の研究
前田喜子 (菊池誠一)

○伝統的和紙加工方法 紙鍋を中心に
松村摩耶 (増田勝彦)

○群馬板倉町の洪水における水神信
仰の変遷と分布
持丸裕香 (渡辺伸夫)

○日本出土のベトナム青花磁器
吉田泰子 (菊池誠一)

○明治時代における群馬県の廃娼運
動について
石川由美子 (児島恭子)

○歌舞伎舞台美術の変遷
上島千佳 (大谷津早苗)

○後北条氏に見る中世武家の贈答
中家景子 (山本博也)

○トーテムズム研究史の考察
渡邊英里子 (掛川典子)

○レヴィーリストロースを中心に、

(3) 平成十七年度 修士論文題目一覧

題 目 氏 名 (指導教員)

沖縄県と北海道における同化教育

——明治期を中心として——
荒木京子 (山本博也)

地芝居の興業に関する研究

——神奈川県相模原地方を事例に——

石井里矢子 (渡辺伸夫)

大正時代の女子教育

——女子高等教育にみる良妻賢母思想再編——

岩淵靖子 (掛川典子)

海外輸出用肥前磁器の研究

——東南アジア出土資料を中心に——

江川真澄 (菊池誠一)

MEN'S MOVEMENTS

——日米男性運動の比較研究——
菊池真純 (掛川典子)

大隅八月踊りの研究——曲目と歌詞を中心に——

近藤和代 (渡辺伸夫)

文人画壇に於ける中国仕女図の影響

——中林竹洞・福原五岳の仕女図を中心に——

佐藤美保 (灰野昭郎)

伊藤若冲と五百羅漢

——伊藤若冲筆「五百羅漢図」から見る禅への傾倒——

鈴木美絵 (内田啓一)

縄文時代における加熱処理石器製作技術の研究

早勢加葉 (山本暉久)

唐招提寺釈迦念仏会の研究

東京大学医学部付属病院病棟建設地点SK03遺構出土

漆製品の実証的研究
渡部マリカ (増田勝彦)

(4) 平成十七年度 研修旅行報告

本学科では、周辺の博物館・美術館等々の日帰りの見学・研修とは別に、夏期休暇を中心に各専門分野ごとに専任教員の指導の下にコースを選定し、研修旅行を実施している。平成十七年度の研修旅行は次表の通りであった。

分野	日程	研修地	参加人数	引率者
地理・歴史	8・5～8	秋田県 帝国石油、なまはげ館、男鹿真山伝承館、一ノ目潟、二ノ目潟、入道崎、寒風山、マタギ資料館、角館町並み散策、抱き返り溪谷、田沢湖、八幡平	7名	田畑久夫
西洋美術史	9・6～8	新潟県、富山県、石川県 新潟県立近代美術館、長岡造形大学、富山県立近代美術館、金沢21世紀美術館	9名	木下亮
日本考古学	8・25～28	岩手県、秋田県、青森県 岩手県滝沢村埋蔵文化財センター、御所野遺跡、大瀧環状列石、伊勢堂岱遺跡、北秋田市漆下遺跡	13名	山本暉久

日本考古学	アジア考古	東アジア言語社会	日本建築史	参加人数	引率者
9・11～13	8・29～9・2	8・18～23	9・10～14	5名	小泉玲子
群馬県 かみつけの里博物館、八幡塚古墳、榛東村耳飾り館、群馬県埋蔵文化財調査事業団、発掘情報館、八ツ墓遺跡、中筋遺跡、中之条町歴史民俗資料館、和田山天神前遺跡、観音塚古墳	ベトナム 国立歴史博物館、民族学博物館、ハロン湾等	中国 万里の長城、明の十三陵、中華民族園、中国国家博物館、故宫博物院、宋慶齡旧居、中国人民大学、中央民族大学、王府井書店、清末復元町、租界地区他	長崎県、熊本県 長崎県美術館、旧英国領事館、出島資料館、グラバー園、大浦天主堂、崇	8名	菊池誠一
				6名	フフバートル
				8名	平井聖 浅野伸子

		福寺、興福寺、諫早城、眼鏡橋、島原城跡、島原武家屋敷、熊本城・御殿復元整備現場、細川刑部邸	

また、博物館学芸員資格取得者には次表の研修旅行を実施した。

9・26～29	日程	研修地	参加人数	引率者
		広島県、岡山県 平和記念公園、原爆ドーム、平和記念資料館、厳島神社・宝物館、宮島町立歴史民俗資料館、広島県立美術館、竹原(伝統的文化的都市環境保存地区)、大山祇神社・宝物館、浄土寺、日本はきもの博物館、郷土玩具博物館、広島県立歴史博物館、大原美術館	73名	増田勝彦 渡辺伸夫 武田昭子

(5) 秋桜祭参加報告

平成十七年度秋桜祭(十一月十二・十三日)に、本学科は、民俗学研究会(渡辺伸夫教授・大谷津早苗助教教授担当)が福島県奥会津

の田島町の年中行事の展示を行い、日本建築史演習(平井聖教授担当)が「韓国の風呂敷・日本の風呂敷」の展示を行った。

(6) 平成十八年度特殊研究講座

本学では、学問の系統ごとに、学外の著名な講師を招いて講演していた「特殊研究講座」を開催している。

平成十八年度の文化史系の特殊研究講座は次の通りである。

山内和也氏(文化財研究所・地域環境室長)

「世界遺産の危機と保存——バーミヤン遺跡の今——」

4月26日(水)

室瀬和美氏(日本文化財漆協会常任理事)

(題未定)

11月22日(水)

光葉博物館だより

〈平成十七年度展覧会〉

- 「授業資料展2005 宮廷装束を中心として」
 - 春の特別展「風を彩る うちわと扇子」
 - 学部博物館実習生による企画展「大切なもの」
 - 秋の特別展「江戸の武家屋敷」
- 1部 泥絵に描かれた大名屋敷